

# 第 16 回目（1994 年 2 月 5 日放送）<sup>1</sup>

## 【いろはがるた】

「芸は身を助ける」: An accomplishment can be help for those who have acquired it.

## 【話の内容】

ハワイ国の革命家ウィルコックス (Robert William Kalanihiapo Wilcox) について知りたいが、知っているかとの問合せがあった。そこで、大久保氏が調べてみた。1900 年ハワイ島の「コナ反響」にウィルコックスに関する記事が載っていたのでそれをもとに紹介する。ウィルコックスは、ハオレ<sup>2</sup>の父親とカナカ<sup>3</sup>の母親のもとに 1855 年 2 月 15 日マウイ島に生まれた。ハレアカラ寄宿学校で学んだあと、25 歳の時にワイルクから議会へ出馬し当選した。その後カラカウア王が欧州へ派遣した 3 人の留学生のうちの 1 人となり、イタリアの陸軍士官学校<sup>4</sup>に学んだ。その間、イタリアの男爵の娘<sup>5</sup>と結婚した。1887 年にサンフランシスコに行き、測量技師として働いた。2 年後、妻をイタリアに戻し、自分はホノルルに戻る。1893～1895 年の王政復古の革命計画<sup>6</sup>で革命軍の

---

<sup>1</sup> ※音質が悪く聞きづらい

<sup>2</sup> Haole. ハワイ語でよそ者の意。転じて白人を指す言葉として使われる。

<sup>3</sup> Kanaka. ハワイ語で人間の意。後から来た移民たちに対し、先住民であるハワイアンを意味する言葉で使われる。

<sup>4</sup> Royal Military Academy at Turin のこと。

<sup>5</sup> Gina Sobrero のこと。ナポリの男爵家の長女。

<sup>6</sup> 1895 年のウィルコックスの反乱のこと。ウィルコックスは 1889 年にもカラカウア王に対し 1887 年の「ベイオネット憲法 (1887 Constitution of the Kingdom of Hawaii)」(ハワイ王国からほとんどの政治力を奪う憲法) を取り下げるよう反乱を起こしたが、逮捕される。裁判にかけられたが、裁判員全員がハワイアンであり無罪放免となった。1891 年にカラカウア王がサンフランシスコで死去し、リリウオカラニが女王となった。1893 年 1 月 17 日にサンフォード・ドールら公安委員会が暫定政府を名乗り、在ハワイ王国アメリカ公使ジョン・スティーブンスがこれを認めた。アリエイオラニハレ (Ali'iōlani Hale. イオラニ宮殿の向いに位置する建物で現在のハワイ州最高裁判所。) を拠点とし、武装したハワイ合併賛成派がここに集合した。戒厳令が惹かれ、アメリカ海軍重巡洋艦ポストンが待機をした。リリウオカラニ女王は公使スティーブンスに抗議をするも失敗し、アリエイオラニハレで武装するホノルルライフルズに対し、イオラニ宮殿をウィルコックス含む王国派の兵士で防御した。この日リリウオカラニ女王は廃位され、2 月 1 日にはハワイ王国の国旗の代わりに星条旗が掲げられた。しかし、3 月 4 日にハワイ合併賛成派であった共和党のベンジャミン・ハリソン政権が終わり、民主党のグローバー・クリーブランドがアメリカ

リーダーを務めた。王政復古の革命は失敗に終わり、サンフォード・ドールが大統領を務めたハワイ共和国政府より終身刑を言い渡されたウィルコックスであったが、1年足らずで特赦を受け出所した。1890年、1892年に議員<sup>7</sup>として選出されハワイアのリーダーであり続けた。1895年にはハワイ人女性<sup>8</sup>と結婚し子供をもうけたが、イタリア人女性との二重結婚だとして反対勢力から責められることとなった。

1899年、日清戦争が終わり日露戦争の始まる5年前、北清に滞在する兵隊の体力の比較に関する記事が出ていた。北米インディアン兵は身長が5尺7寸4分、アメリカ白人兵は5尺7寸2分、イギリス兵は5尺6寸3分、ドイツ兵は5尺6寸5分、フランス兵5尺6寸、日本兵は5尺3寸2分であった。体重が外国人兵は約17貫に対し、日本兵は15貫であったという。

そんな記事が出たころのハワイの様子はどうかというと、コナ日本人キリスト教会であった3人の洗礼に関する記事が12月2日の新聞に出ていた。

## 【曲】

「大陸の合唱」(歌:三門順子・樋口静雄)

## 【サブジェクトタグ】

ハワイ王国 コナ反響

---

合衆国の大統領になった。クリーブランドは1893年11月4日にリリウオカラニ女王の権力回復を命じるも、暫定政府はこれに応じず、自分たちを「ハワイ共和国」と称し、1894年7月4日に共和国の大統領としてドールが選出された。王国転覆から2年経った1895年1月6日、ウィルコックスはサミュエル・ノレインら王権派らと共和国転覆を図る。夜、サンスーシビーチ（ダイヤモンドヘッド側のワイキキの端にあるビーチ）から武器を持ち込む予定であった。密告者の通報により、革命派はワイキキからダイヤモンドヘッド、パロロ、マノア谷などへと散り散りになり、ホノルルに戒厳令が敷かれた。この事件の責任を糾弾されたリリウオカラニ女王は、10日後イオラニ宮殿に幽閉され、1月24日に王権の放棄を強要された。

<sup>7</sup> ハワイ準州議会のこと。

<sup>8</sup> Theresa Owana Ka'ohelani La'anui のこと。カメハメハ1世の兄の子孫の王女。